

よみがえれ 地方語

◎ 4 ◎

船津 好明

沖繩文字と発音

②

対照国語文字 沖繩文字

か

音韻記号 = kwa
国際音声記号 = [kwa]

対照国語文字 沖繩文字

が

音韻記号 = gwa
国際音声記号 = [gwa]

対照国語文字 沖繩文字

き

音韻記号 = kwi
国際音声記号 = [kwi]

対照国語文字 沖繩文字

ぎ

音韻記号 = gwi
国際音声記号 = [gwi]

発想——国語文字「く」と「わ」を組み合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

発想——国語文字「か」と「が」の表記上の関連に習い、「が」に濁点を打ったもの。

発想——国語文字「く」と「い」を組み合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

発想——国語文字「き」と「ぎ」の表記上の関連に習い、「ぎ」に濁点を打ったもの。

用例——ち(火事)、ち(ち) (かほちや)

対照例——かじ(風)、かない(雷)、かーま(遠方)

用例——かんく(頑固)、かんち(赤ん坊)、にんかん(念願)

対照例——がんちよ(眼鏡、めがね)、がちゅん(鱒)、しがた(姿)

用例——きー(木)、きゆん(呉れる)、きん(咳)

対照例——きー(木)、きゆん(蹴る)、きん(煙)

用例——ぎーく(越来)、地名

対照例——きぎ(月橘)、木の名、かーぎ(容貌)

「わ」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」や「わ」をほとんど同時にこのようにすると、「わ」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「あ」を発声したときの形になる。

「が」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」や「わ」をほとんど同時にこのようにすると、「が」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「あ」を発声したときの形になる。

「き」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」と「い」をほとんど同時にこのようにすると、「き」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「い」を発声したときの形になる。「く」のようには音に聞こえるような発声は正しくなく。

「ぎ」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめてやや尖らせ、国語の「く」と「い」をほとんど同時にこのようにすると、「ぎ」の発音に近くなる。発声直後は唇が緩み開いて「い」を発声したときの形になる。「く」のようには音に聞こえるような発声は正しくなく。

(沖繩語研究家)